市町村名	国頭村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	やんばるの自然環境保全事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア 自然環境・生物多様性の保全・継承
担当部課名	環境保全課	事業実施（予定）年度	令和４年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容

村内の観光施設及び村営林道において、希少種や外来生物の分布状況を把握し、緊急性の高いエリアを選定して外来植物の防除業務を実施した。また、村営林道については、密猟対策として村営林道12路線を定期的にパトロールを行った。

効果発現年度　■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	36,285	25,421			
	(b) 予算現額	19,800	26,553			
	(c) 増減額 (b-a)	−16,485	1,132	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	19,800	26,553	0	0	0
B. 執行済額		19,800	26,553			
うち交付金充当額		15,840	21,242			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明

当初予算からの増額については、現地踏査の結果、観光施設は当初防除面積4,000㎡、林道1,000㎡を予定していた。観光施設については、4施設を対象としていたが、1施設については、防除の必要がない結果となったため、その分を国頭村森林公園へ振り替えることとなったが、本事業が令和6年度までの継続事業であるため、対象面積を4,700㎡にし、令和6年度で予定していた防除計画部分を前倒しで対応することで、事業効果の発現を図った。林道においても対象面積を2,000㎡にし、令和6年度までの防除計画を前倒しして取り組むことで、事業効果の発現の前倒しを図った。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
村内観光施設における外来種防除対策の実施 N=4か所	目　標	（　2か所　）	（　4か所　）	（　　）	（　　）
	実　績	2か所	3か所		
村営林道における林道パトロール及び外来植物等の分布調査の実施 N=12本	目　標	（　12本　）	（　12本　）	（　　）	（　　）
	実　績	12本	12本		

達成状況説明

・村内観光施設における外来種防除については、「国頭村森林公園」、「比地大滝遊歩道」及び「奥やんばるの里」の3施設において、防除事業を実施することができた。当初予定していた「やんばる学びの森」については、現地踏査の結果、現時点で外来生物による希少種への影響は受けづらいと判断した為、本業務での外来種防除ではなく、施設管理者による防除へ切り替えたため、実施しなかった。
・村営林道の監視及び外来植物の分布調査については、予定どおり12路線で実施することができ、外来生物防除の優先度を踏まえて、「チヌフク林道」、「宜名真林道」及び「奥間林道」においては、路線の一部において外来種防除を行うことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（　年度）
村内観光施設の外来植物減少率 A=60%以上	目　標	（　　）	（　50%以上　）	（　60%以上　）	（　　）	（　　）
	実　績		96%	95%		
村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	目　標	（　　）	（　0件　）	（　0件　）	（　　）	（　　）
	実　績		0件	0件		

進捗状況説明

・村内観光施設の外来植物の減少率は、目標の60%を大きく上回る3施設平均で95%を達成することができた。
・昆虫トラップについては、12路線中2路線で2個の昆虫トラップを確認し、すべての回収・処分を行い、トラップは0件となり目標を達成することができた。

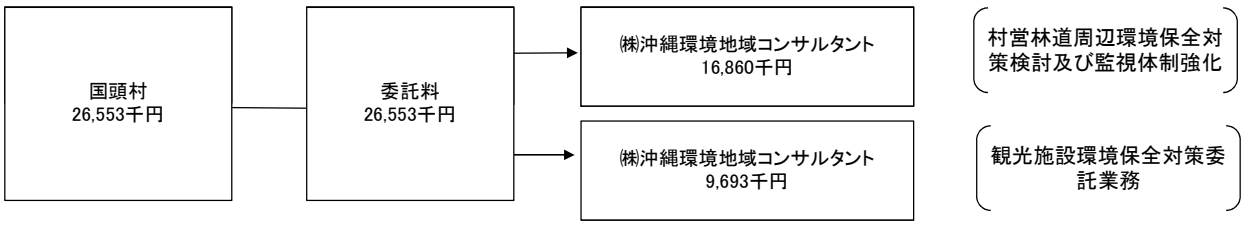
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光施設においては、人の往来による外来植物を拡散させる可能性があり、外来植物を拡散しないように取組が必要である。 ・林道周辺における希少種や外来植物の分布調査により把握することができたが、今後モニタリングによる希少種や外来植物の増減等について、継続的な調査が必要である。また、盗掘等に関する抑止力の取り組みも必要である。	・観光施設については、年度ごとに計画的な外来種防除を実施し、外来植物の確実な低減につなげる取り組みを行う。 ・村営林道においては、継続的な監視パトロールの実施、モニタリング調査、年度ごとに計画的な外来種防除を実施し、外来植物の確実な低減につなげる取り組みを行う。

今後の取り組み方針

・観光施設については、人の往来により外来植物の種子を拡散させないために、靴や被服についている趣旨を取り除くためのマットやエアーブラシの設置について検討する。
また、段階的に外来種防除の取り組みを、核施設の指定管理者に移行できるように検討を図る。
・村営林道においては、密猟対策として、監視カメラと警告板をセットとして数ヶ所設置し、監視体制の強化及び密猟の抑止力強化につなげるための取り組みを検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,553	26,553	21,242	5,311	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	国頭村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	国頭村農林水産物販売強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（7）-ウ 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	令和５年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（6）

事業内容

村内農作物の都内での適正価格及び需要を把握することで、村内農作物の高価値化、また現地事業者と生産農家とのマッチングにより販路の拡大を図り、農産物等の販売力の強化及び農林水産事業者の所得の向上に繋げる。

効果発現年度　■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法　□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,892				
	(b) 予算現額	2,892				
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	2,892	0	0	0	0
B. 執行済額		2,636				
うち交付金充当額		2,109				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		91.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明　台風襲来の影響により1回分の旅費が不要になったことと、航空券等の早期予約に努めたことによる不用額。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
農林水産物の県外での販売強化の補助	目　標	（販売強化の補助）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	販売強化の補助			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明　東京青山ファーマーズにおいて、国頭村産農林水産物の販売を毎週土日実施、また国頭村生産農家による直接販売会も実施し、販売を通してPRを行うとともに、東京の現地事業者と村農家を繋いで直接取引に繋げた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
マンゴー単価　1,590円/kg	目　標	（　　）	（1,590円）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		2,000円			
タンカン単価　455円/kg	目　標	（　　）	（455円）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1,500円			

進捗状況説明　都内マルシェで直接販売することによって、村内での買取価格より高価格でも、需要があることが確認できた。

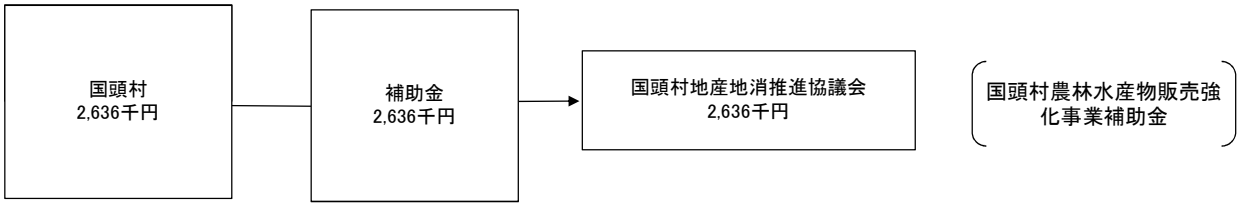
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業内容について村内農家へ広く浸透しておらず、販売作物品種が限定的となってしまった。	現在販売できていない作物についても、都心での適正価格および需要確認のため、販売を実施する。そのために村内農家に事業内容を理解してもらい、様々な作物を販売できる体制を整える。

今後の取り組み方針

引き続き、都心マルシェでの販売及び直接販売会を実施し、並行して村内生産農家への個別説明等も行い、出品農家及び作物品種の拡充を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,636	2,636	2,109	527	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本村の要綱で設置している協議会を選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の10%以内であり、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	国頭村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	国頭村交通不便地域における2次交通実証事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（2）-ウ 多彩かつ質の高い観光の推進
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	令和５年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容	本村を訪れる観光客の二次交通に係る課題解決及び利便性の向上を図るため、持続可能で安定した二次交通の導入に向けたコミュニティバス（2台）を運行し実証実験を行った。
効果発現年度	□当年度　■後年度（R6年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況	(a) 当初予算額	20, 636				
	(b) 予算現額	20, 636				
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	20,636	0	0	0	0
	B. 執行済額	19,663				
	うち交付金充当額	15,730				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明	運休日を設定（毎週水曜日・1月1日）したことによる運行日数の減による不用額。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
アンケート調査（11月～2月）	目　標	（　調査実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査実施			
実証実験に係る広報計画の策定及び実施（10月～11月）	目　標	（計画の策定及び実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	広報計画の策定及び実施			
実証実験の実施（11月～2月）	目　標	（実証実験の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実証実験の実施			
実証実験の評価（3月）	目　標	（　評価実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	評価実施			
地域公共交通会議の開催1回（3月）	目　標	（　会議の開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	会議の開催			

達成状況説明	・実証実験期間中、382人の乗客のうち267人の乗客からアンケートの回答を得た（回答率69.9%）。 ・広報計画の策定については、12月からとなり、村のHPでも広報を実施したが、広報不足との声があった。 ・実証実験については、12月末から2月末までの間となり、当初計画していた期間より短い実証実験期間となった。 ・地域交通会議については、9月に1回開催した。その後実証実験に関係する観光関係団体をメンバーとした「二次交通実証実験推進協議会」を設立し、11月と3月に実証実験の計画と検証を協議した。

成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（　年度）
	実証実験の実施、評価、アンケート調査の分析及び地域公共交通会議の開催	目　標	（　　）	（　全て実施　）	（　　）	（　　）	（　　）
		実　績		全て実施した。			
		目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
		実　績					
	進捗状況説明	・実証実験については、12月25日～2月29日まで実施（毎週水曜日、12月31日・1月1日運休）。 ・実証実験の評価、アンケートの分析については、3月に開催した「二次交通実証実験推進協議会」で評価・検証を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（実証実験の実施、評価） ・当初11月からの実証実験スタートを計画していたが、業者選定に時間を要し、準備などで12月25日からスタートし、計画通り2月29日まで実証実験を実施した。 評価については、3月に「二次交通実証実験推進協議会」で評価を実施した。 （アンケート調査の分析） ・12月25日から2月29日まで実施した実証実験で乗車した方382人中、267人からアンケートの回答を得た。内容については、おおむね好評で、次年度も実施してほしいとの声が多かったが、実証実験を知らなかった観光客の声もあったことから、事業実施の周知方法に課題が残った。 （地域公共交通会議の開催） ・地域公共交通会議については、9月に開催された際に、事業説明を行った。その後、観光事業関係者で「二次交通実証実験推進協議会」を10月に設立し、協議会で評価及び効果検証を実施した。	（実証実験の実施、評価） ・県内の観光がコロナ禍から回復し始めたことから、事業者の選定に苦慮し、事業実施に際しては、計画的なスケジュールを立て、準備する必要がある。また、実証実験を実施するに当たり、利用者への周知方法について、検討する必要がある。 （アンケート調査の分析） バスの乗客から多くのアンケートを回収できるよう、バス運転手にも協力してもらい、アンケートに協力してもらえるよう声掛けしてもらう。また、バスの各座席にもQRコードを掲示し、携帯から回答できるよう事業者との連携を図る。 （地域公共交通会議の開催） ・村内の観光関係者をメンバーとする「二次交通実証実験推進協議会」において、昨年度に引き続き実証事業の効果検証、意見等の集約を行う。

今後の取り組み方針

（実証実験の実施、評価）
・次年度は、実証実験期間を周年にし、年間の利用状況のデータを収集する。また、ルートを見直し利用効率が向上するルート設定を行う。

（アンケート調査の分析）
・バスに乗車した観光客等の利用者から多くの回答が得られるよう周知を図り、昨年度に引き続き紙ベースだけでなく携帯電話で回答できるアンケートを引き続き実施する。また外国語にも対応する。

（地域公共交通会議の開催）
・「二次交通実証実験推進協議会」において、回収したアンケートの分析、効果検証を行い、ルート設定、効率的な運行形態の検討を行う。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,663	19,663	15,730	3,933	

国頭村
19,663千円
→
委託料
19,663千円
→
新報トラスト株式会社
19,663千円

（国頭村交通不便地域における二次交通実証事業委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、公募型簡易プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	国頭村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	星空観光推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-（2）-ウ 多彩かつ質の高い観光の推進
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	令和５年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	国頭村の星空観光の魅力を発信するため、星空観光専用ホームページ制作及び毎月の更新、また、星空観望会に必要な備品の購入を行った。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和7年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,901				
	(b) 予算現額	2,901				
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	2,901	0	0	0	0
	B. 執行済額	2,794				
	うち交付金充当額	2,235				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		96.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：星空観光専用ホームページ制作及び星空観望会備品購入業務も予定通り執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
星空観光を推進するホームページの作成	目標	（ホームページの作成）	（　）	（　）	（　）
	実績	ホームページの作成			
星空観光の普及を図る備品の整備	目標	（備品の整備）	（　）	（　）	（　）
	実績	備品の整備			

達成状況説明：・星空観光を推進するホームページの作成、及び星空観光の普及を図る備品の整備について令和5年度内に完了。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
星空観光を推進するホームページの公開	目標	（　）	（ホームページの公開）	（　）	（　）	（　）
	実績		ホームページの公開			
星空観光の普及を図る備品の購入	目標	（　）	（備品の購入）	（　）	（　）	（　）
	実績		備品の購入			

進捗状況説明：下記に記載のとおり事業を実施し、村内の星空観光の魅力を発信する環境の整備、及び星空観望会に必要な備品を整備したことによって誘客体制を強化することができた。
・星空観光ホームページの制作を行い、村内で活動する星空ガイドの紹介及び誘客、星空に関する豆知識情報などの掲載を行った。
・星空観望会に必要な備品を整備し、各施設毎に星空観望会及びツアーが実施できる環境を整えた。

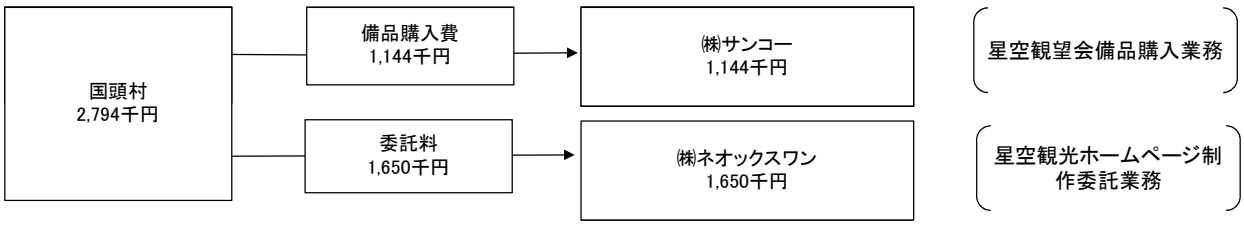
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・星空観光ホームページの完了に伴い、ホームページの管理・運営する業者の選定を行ったが、具体的な更新頻度や内容の調整を行う必要がある。 ・星空観望会に必要な備品整備の完了により、効果的な活用方法に向けて各施設と調整を行う必要がある。	・星空観光ホームページの運用については、運営業者及び星空ガイドからの意見を参考に更新頻度や内容の調整を行う。 ・星空観望会備品の有効活用については、施設管理者及び星空ガイドからの意見を参考に活用についての調整を行う。

今後の取り組み方針

・星空観光ホームページの運用については、運営業者及び星空ガイドからの意見を踏まえて決定した内容に基づいて速やかに着手する。
・星空観望会備品の有効活用については、施設管理者及び星空ガイドからの意見を踏まえて、村内星空ガイド全員で有効活用できるように調整を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,794	2,794	2,235	559	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札及び公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり、予算規模については適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	